

48 加武川河口

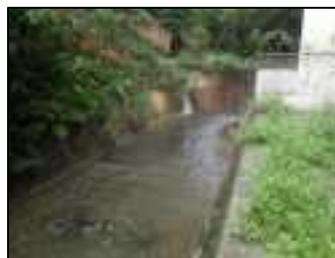
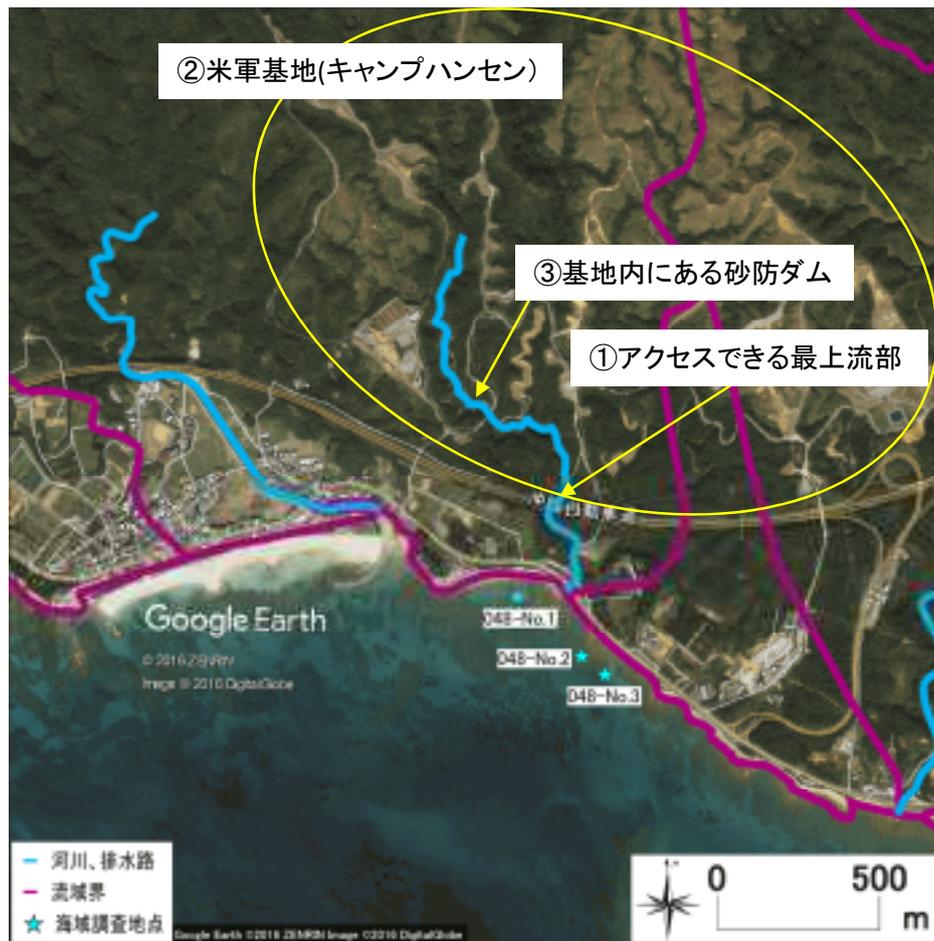
流域内状況

本流域は、加武川を主とする流域であり、沖縄本島中部の金武町村に位置する。
本流域のほとんどは米軍基地の敷地となっており、基地内の調査はできず、調査対象は、下流域に限られる(②)。
なお、基地内には、米軍演習場からの赤土等の流出の防止を目的とした砂防ダムが設置されている(③)。

流域位置図



流域図



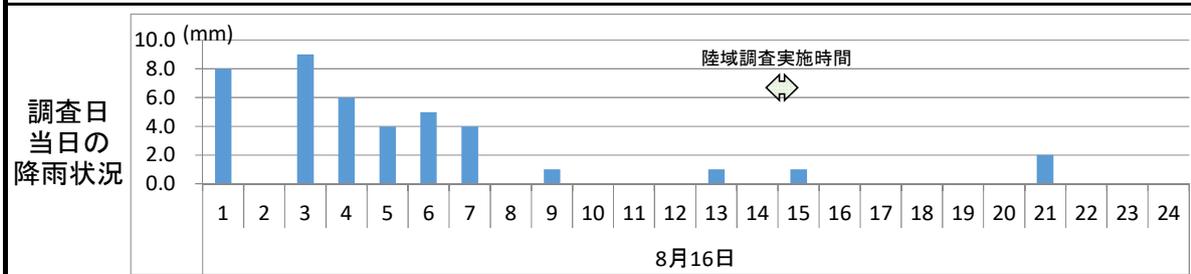
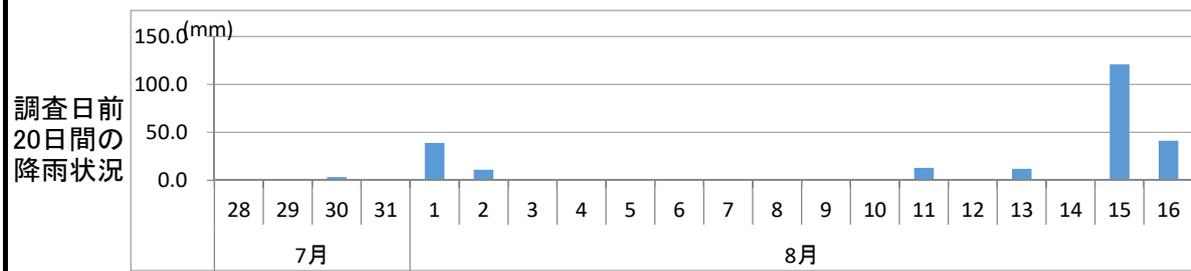
①アクセスできる最上流部

* 衛星写真の撮影日は平成27年1月4日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

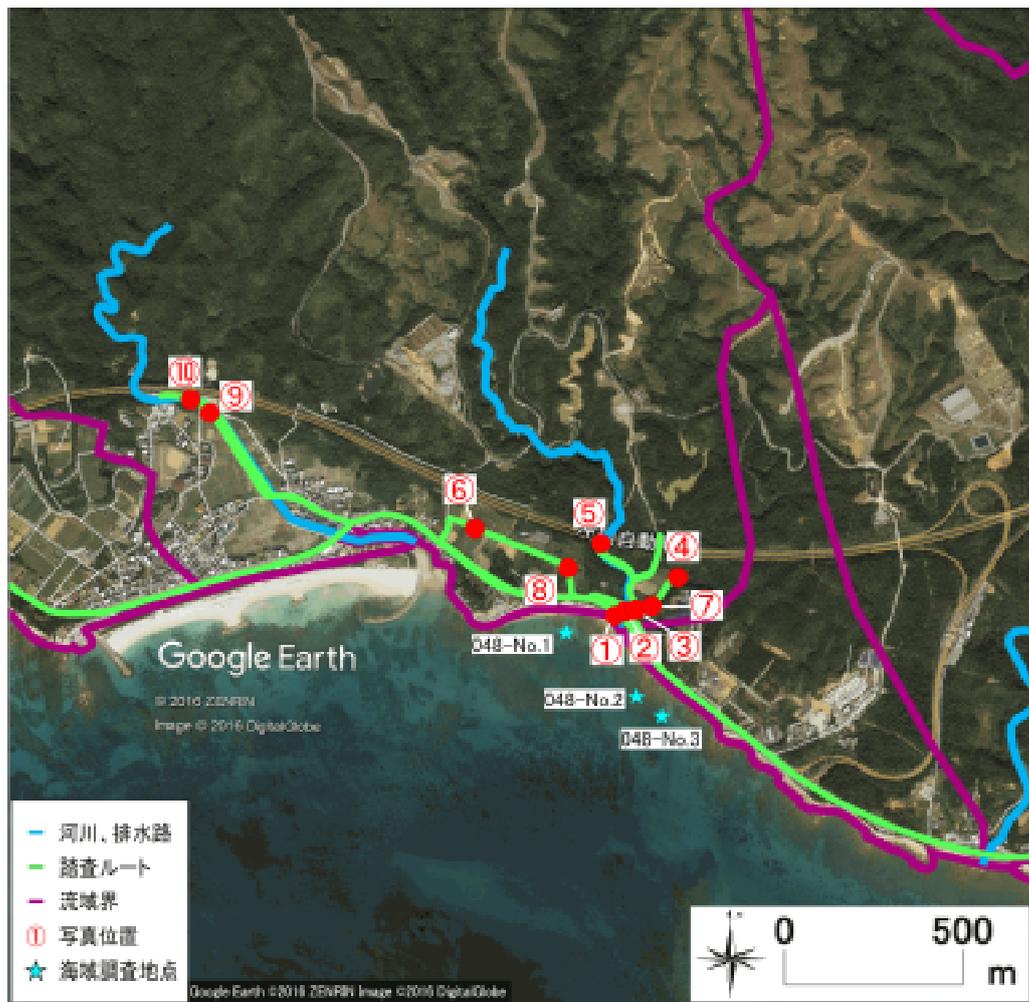
48 加武川河口

第1回調査(平成30年6月16日実施)

降雨状況 漢那ダム観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成27年1月4日であるため、本調査日平成30年6月16日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

48 加武川河口 第1回調査(平成30年6月16日実施)
調査日前日には降雨量が166mmであったため 降雨後 として調査実施
流出情報等
(1)河口、河川
① 河口域において、濁りは確認されなかった。
② 河川下流域において、濁りは確認されなかった。
③ 河川下流域において、若干の濁りが確認された。
④ 東側支川のアクセスできる最上流域において、若干の濁りが確認された。
⑤ 西側支川のアクセスできる最上流域において、濁りは確認されなかった。また、河川横の崩落箇所には土のうによる赤土等の流出防止対策が確認された。
(2)農地
⑥ 流域内西側において、サトウキビ畑から側溝へ赤土等の流出痕が確認された。側溝内には大量の赤土等が堆積してると考えられる。
(3)その他(造成地や工事など)
⑦ 流域内東側において、土砂崩れ跡が確認された。法面には裸地が目立ち、河川側面には若干の流出痕があったことから、降雨時には赤土等が流出する可能性があると考えられる。
流出防止対策等
(1)農地
⑧ 流域内中央付近のタイモ畑において、トタン板による赤土等の流出防止対策が確認された。
⑪ 流域内西側付近のサトウキビ畑において、パイプによる赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、道路への赤土等の若干の流出痕も確認された。
⑫ 流域内西側付近の農地において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
過年度確認地点との比較
流出情報等
(1)農地
⑥ 昨年度と比べ変化はなく、サトウキビ畑から溝や道路へ赤土等が流出していた。
(2)その他(造成地や工事など)
⑦ 昨年度と比べ変化はなく、土砂崩れ箇所の法面には裸地が目立ち、河川側面には若干の流出痕があった。

48 加武川河口 第1回調査(平成30年6月16日実施)

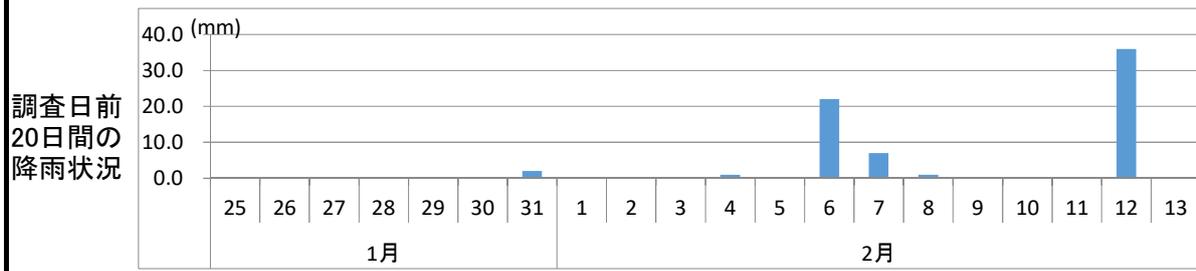
調査日前日には降雨量が166mmであったため 降雨後 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	② 河川下流域の状況 (濁りなし)	② 河川下流域の状況 (濁りなし)
		
③ 河川下流域の状況 (濁り少)	④ 東側支川のアクセスできる 上流域の状況(濁り少)	④ 東側支川のアクセスできる 上流域の状況(濁り少)
		
⑤ 西側支川のアクセスできる 最上流域の状況(濁りなし)	⑤ 西側支川のアクセスできる 最上流域の状況(濁りなし)	⑥ サトウキビ畑から側溝へ赤 土等の流出痕状況
		
⑥ 昨年度の状況	⑦ 土砂崩れ箇所の状況	⑦ 昨年度の状況
		
⑧ トタン板による赤土等の流 出防止対策	⑨ パイプによる赤土等の流 出防止対策	⑩ マルチングによる赤土等の 流出防止対策

48 加武川河口

第2回調査(平成31年2月13日実施)

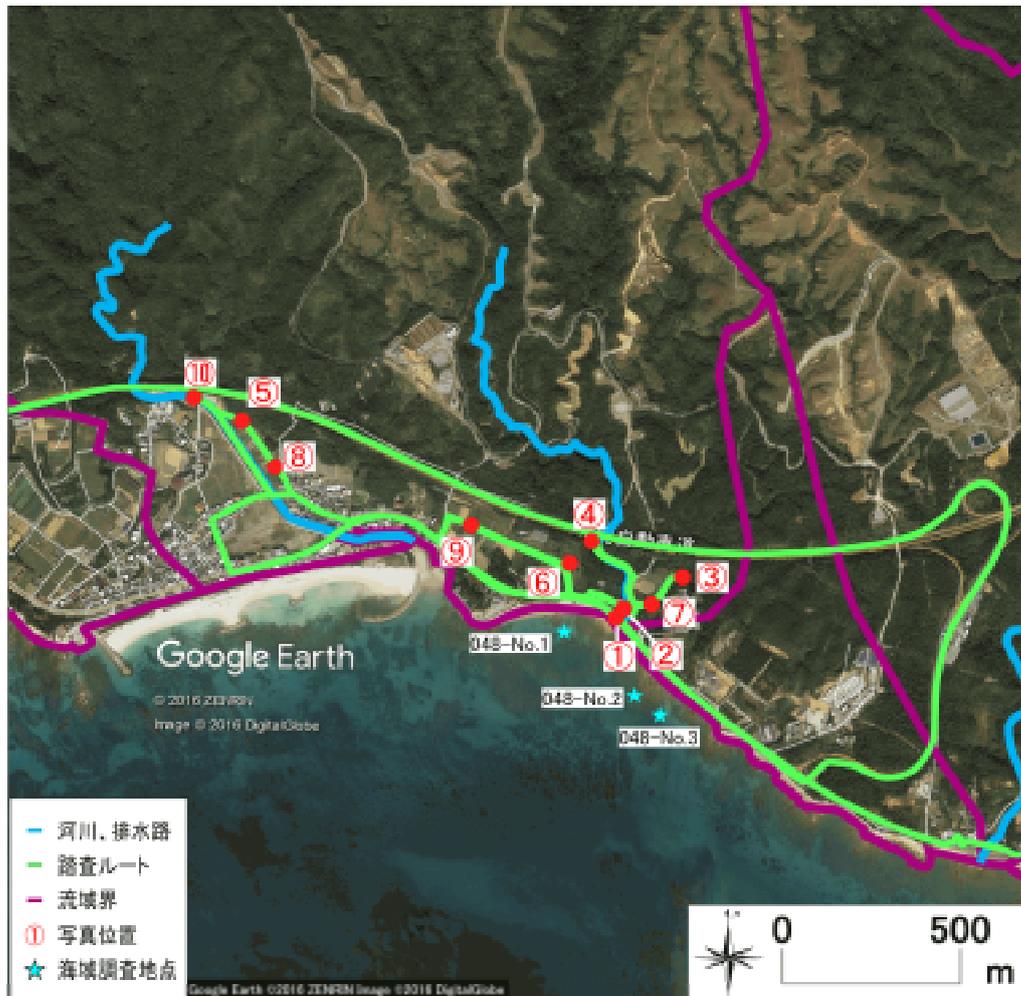
降雨状況 漢那ダム観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成27年1月4日であるため、本調査日平成31年2月13日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

48 加武川河口 第2回調査(平成31年2月13日実施)
調査日前日には降雨量が36mmであったため 降雨後 として調査実施
流出情報等
(1)河口、河川
① 河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は6.6(度)であった。
② 河川下流域において、濁りが確認され、濁度は122.8(度)であった。この濁水の要因は、地点⑥のタイモ畑からの濁水の流出や周辺の農地からの流出と考えられる。
③ 東側支川のアクセスできる最上流域において、濁りはほとんどなく、濁度は3.3(度)であった。
④ 西側支川のアクセスできる最上流域において、濁りはほとんどなく、濁度は5.3(度)であった。また、河川横の崩落箇所には土のうによる赤土等の流出防止対策が確認された。
(2)農地
⑤ 流域内西側の農地において、側溝や道路へ赤土等の流出が確認された。
(3)その他(造成地や工事など)
⑥ 流域内中央付近のタイモ畑において、農地端から農地にたまった濁水が排水されており、その濁度は51.7(度)であった。
流出防止対策等
(1)農地
⑦ 流域内東側において、裸地の目立つ河川法面が確認された。河川側面には若干の流出痕があったことから、降雨時には赤土等が流出する可能性があると考えられる。
⑧ 流域内東側において、裸地が目立つ空き地から道路へ赤土等の流出が確認された。
⑨ 流域内西側のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
(2)その他(造成地や工事など)
⑩ 流域内西側付近の農地において、部分的に草本によるグリーンベルトが確認された。しかし、グリーンベルトがない箇所から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
1回目確認地点との比較
流出情報等
(1)農地
⑤ 前回と比べ、農地のマルチングはなくなり、赤土等の若干の流出が確認された。
⑥ 前回と比べ、タイモ畑にトタンによる赤土等流出防止対策に変化はなかったものの、今回は農地端から農地にたまった濁水が排水されていた。降雨量が畑の許容量を超えた場合、今回のように濁水を排水している可能性が高いと考えられる。
(2)その他(造成地や工事など)
⑦ 前回と比べ変化はなく、土砂崩れ箇所の法面には裸地が目立ち、河川側面には若干の流出痕があった。
⑧ 昨年度に造成された箇所は、特に利用されていないようで裸地の目立つ空き地になっていた。また、赤土等も造成時と同じように道路へ流出していた。
流出防止対策等
(1)農地
⑨ 前回と比べ、農地にはマルチングが施されており、赤土等の流出もなかった。
(2)その他(造成地や工事など)
⑩ 前回と比べ、農地のマルチングはなくなり、草本による部分的なグリーンベルトが施されていたものの、赤土等の若干の流出が確認された。

48 加武川河口 第2回調査(平成31年2月13日実施)

調査日前日には降雨量が36mmであったため 降雨後 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁り少)	① 採水の状況 (濁度6.6(度))	② 河川下流域の状況 (濁り有り)
		
② 河川下流域の状況 (濁り有り)	② 採水の状況 (濁度122.8(度))	③ 東側支川のアクセスできる 上流域の状況(濁り少)
		
③ 採水の状況 (濁度3.3(度))	④ 西側支川のアクセスできる 最上流域の状況(濁り少)	④ 採水の状況 (濁度5.3(度))
		
④ 河川横の土のうによる流出 防止対策	⑤ 農地から側溝や道路へ赤 土等の流出状況	⑤ 昨年度の状況
		
⑥ タイモ畑から濁水流出の状 況	⑥ タイモ畑の状況	⑥ 採水の状況 (濁度51.7(度))

48 加武川河口 第2回調査(平成31年2月13日実施)

調査日前日には降雨量が36mmであったため 降雨後 として調査実施

		
⑥ 前回の状況	⑦ 土砂崩れ後の状況	⑦ 前回の状況
		
⑧ 裸地の目立つ空き地から道路へ赤土等の流出状況	⑧ 昨年度の状況	⑨ マルチングによる赤土等の流出防止対策
		
⑨ マルチングによる赤土等の流出防止対策	⑨ 前回の状況	⑩ グリーンベルトによる赤土等の流出防止対策
		
⑩ 前回の状況		

55 石川川(うるま市)河口

流域内状況

本流域は、石川川(うるま市)を主とする流域であり、沖縄本島中部のうるま市に位置する。

流域内には海域に沿うように、住宅地が広がる(①)。

その住宅地の内陸側には土地改良等で整備された農地が広がる。農地では、主にサトウキビが栽培されている(②)。

また、河川南側の支川の上流は「石川ダム」につながっている(③)。

流域位置図



流域図

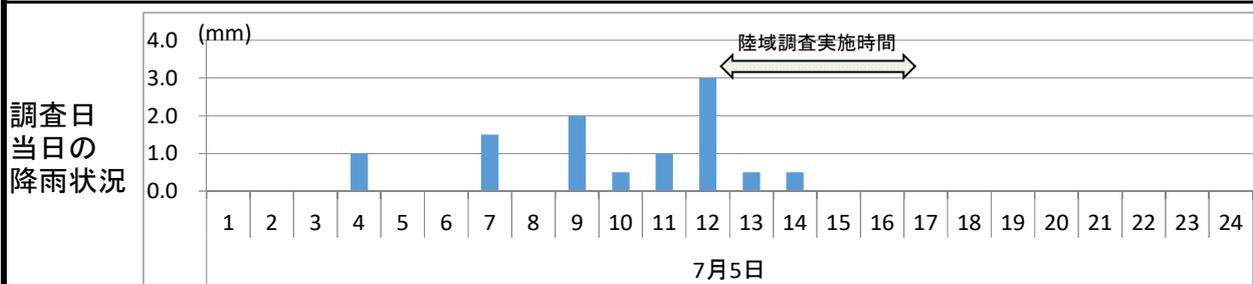
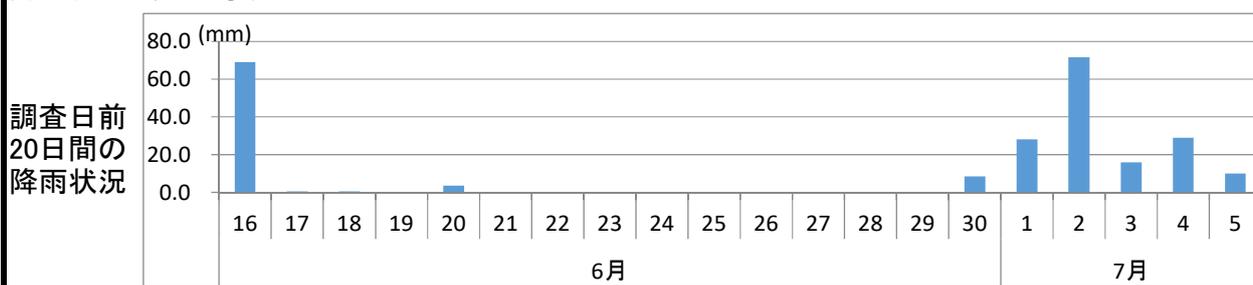


* 衛星写真の撮影日は平成27年1月4日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

55 石川川(うるま市)河口

第1回調査(平成30年7月5日実施)

降雨状況 宮城島観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成27年1月4日であるため、本調査日平成30年7月5日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

55 石川川(うるま市)河口 第1回調査(平成30年7月5日実施)
調査日には降雨量が10mmであったため 降雨時 として調査実施
流出情報等
(1)河口、河川
① 河口域において、濁りが確認され、その濁度は4.8(度)であった。
② 北側支川下流域において、濁りが確認され、その濁度は4.6(度)であった。
(2)農地
③ 流域内東側において、キク畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
④ 流域内北側において、サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
⑤ 流域内北側において、農地から側溝や道路への赤土等の流出が確認された。
⑥ 流域内北側において、キク畑から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
⑦ 流域内西側において、農地から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
⑧ 流域内西側において、農地から水路や道路へ赤土等の若干の流出が確認された。
(3)その他(造成地や工事など)
⑨ 流域内北東側において、新規造成地が確認された。造成地付近には規模不明の「(仮称)瀬良垣ホテル事業」と2,543㎡の「中部保第2-28048-1号」の工事が行われており、赤土等流出防止条列に係わる表示が確認された。また、工事箇所から道路へ赤土等が流出していた。
⑩ 流域内北東側において、土砂崩れ跡が確認された。斜面にはビニルシートと土のうによる赤土等の流出防止対策が行われてることから、今後流出する可能性はないと考えられる。
⑪ 流域内中央付近において、路肩斜面から側溝や道路へ赤土等の流出が確認された。
⑫ 流域内南西側において、土砂崩れ箇所が確認された。裸地が目立ち、道路への赤土等の流出も確認された。
流出防止対策等
(1)農地
⑬ 流域内中央付近の農地において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。この箇所からの流出かはわからないが、道路へ赤土等が若干流出していた。
⑭ 流域内西側の裸地において、トタン板による赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、側溝や道路への赤土等の流出や堆積も確認された。
(2)その他(造成地や工事など)
⑮ 流域内北西側において、沈砂池が確認された。雑草が生い茂っており、オーバーフローの状況は分からなかった。
⑯ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、その濁度は1.4(度)であった。
過年度確認地点との比較
流出情報等
(1)農地
③ 昨年度と比べ、キク畑の裸地が目立っており、赤土等の流出可能性は高まったと考えられる。
④,⑥, 昨年度と比べ変化はなく、キク畑やサトウキビ畑等の農地から道路や側溝等へ赤土等が流出し
⑦,⑧ ていた。
⑰ 昨年度と比べ、農園から赤土等の流出は確認されず、草本が覆い、裸地がほとんどなくなっていたため、以後流出する可能性は低いと考えられる。
⑱ 昨年度と比べ、造成地は農地として利用されており、特に流出等は確認されなかった。
(2)その他(造成地や工事など)
⑨ 昨年度と比べ、継続していた工事箇所から一部の道路へ赤土等が流出していた。
⑪ 昨年度と比べ変化はなく、路肩斜面から側溝や道路へ赤土等が流出していた。
⑫ 昨年度と比べ変化はなく、土砂崩れ箇所から道路へ赤土等が流出していた。

55 石川川(うるま市)河口 第1回調査(平成30年7月5日実施)

調査日には降雨量が10mmであったため 降雨時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁り有り)	① 河口域の状況 (濁り有り)	① 採水の状況 (濁度4.8(度))
		
② 北側支川下流域の状況 (濁り有り)	② 採水の状況 (濁度4.6(度))	③ キク畑から側溝や道路へ 赤土等の若干の流出状況
		
③ 昨年度の状況	④ サトウキビ畑から側溝や道路へ 赤土等の若干の流出状況	④ 昨年度の状況
		
⑤ 農地から側溝や道路へ赤 土等の流出状況	⑥ キク畑から道路へ赤土等 の若干の流出状況	⑥ 昨年度の状況
		
⑦ 農地から道路へ赤土等の 若干の流出状況	⑦ 昨年度の状況	⑧ 農地から道路や側溝へ赤 土等の若干の流出状況

55 石川川(うるま市)河口 第1回調査(平成30年7月5日実施)
 調査日には降雨量が10mmであったため 降雨時 として調査実施

⑧ 昨年度の状況	⑨ 赤土等流出防止条例に係わる表示(工事名は個人情報のため黒塗り)	⑨ 赤土等流出防止条例に係わる表示
⑨ 工事現場の状況	⑨ 工事現場から道路へ赤土等の流出状況	⑨ 昨年度の状況
⑩ 土砂崩れ箇所の状況	⑪ 路肩斜面から側溝や道へ赤土等の流出状況	⑪ 昨年度の状況
⑫ 土砂崩れ箇所の状況	⑫ 昨年度の状況	⑬ 勾配修正による赤土等の流出防止対策
⑭ トタン板による赤土等の流出防止対策	⑮ 沈砂池の状況(オーバーフロー不明)	⑯ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り)

55 石川川(うるま市)河口 第1回調査(平成30年7月5日実施)

調査日には降雨量が10mmであったため 降雨時 として調査実施



⑩ オーバーフローの状況
(濁り少)



⑩ 採水の状況
(濁度1.4(度))



⑩ 農園の状況
(流出なし)



⑪ 昨年度の状況



⑪ 農地の状況
(流出なし)



⑪ 昨年度の状況

--

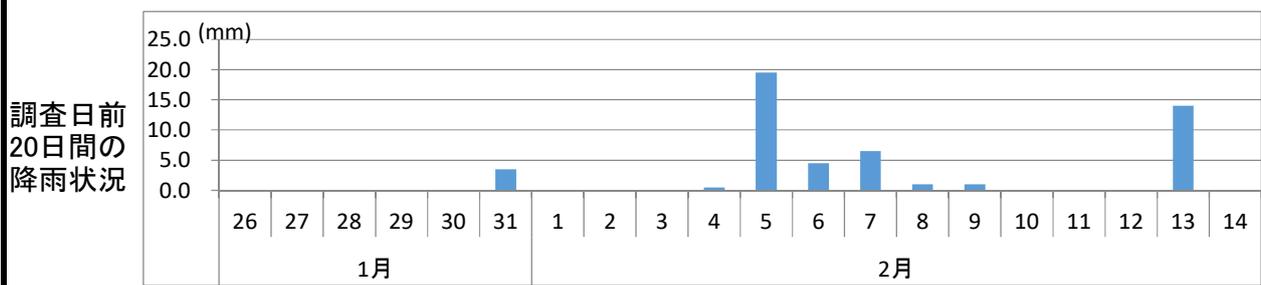
--

--

55 石川川(うるま市)河口

第2回調査(平成31年2月14日実施)

降雨状況 宮城島観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成27年1月4日であるため、本調査日平成31年2月14日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

55 石川川(うるま市)河口 第2回調査(平成31年2月14日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 北側支川下流域において、若干の濁りが確認され、その濁度は8.4(度)であった。

(2)農地

- ③ 流域内北側において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ④ 流域内北側において、農地から側溝や道路への赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑤ 流域内北側において、キク畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑥ 流域内西側において、農地から道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑦ 流域内西側において、農地から水路や道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑧ 流域内北東側において、新規造成地が確認された。造成地付近には規模不明の「(仮称)瀬良垣ホテル事業」と2,543㎡の「中部保第2-28048-1号」の工事が行われており、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。
- ⑨ 流域内中央付近において、路肩斜面から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。
- ⑩ 流域内南側において、新規造成地が確認された。規模は約40×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかったが、外周には赤土等の流出防止対策として構造物や土のうが設置されていた。
- ⑪ 流域内南側において、「(仮称)サンエー石川シティ新築工事」が確認された。工事規模は45,642㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示も確認された。トラックのタイヤ痕はあったが、特に流出はなかった。
- ⑫ 流域内南西側において、土砂崩れ箇所が確認された。裸地が目立ち、道路への赤土等の流出も確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑬ 流域内北側の農地において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑭ 流域内中央付近の農地において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑮ 流域内西側の裸地において、トタン板による赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、側溝や道路への赤土等の流出や堆積も確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑯ 流域内北西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。
- ⑰ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローが確認されたが、濁りは確認されなかった。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ③、⑥ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑等の農地から道路や側溝へ赤土等が流出していた。
- ④ 前回と比べ、雑草が覆い裸地が減少していたが、赤土等の流出状況にほとんど変化はなかった。
- ⑤、⑦ 前回と比べ、キク畑等の農地から道路や側溝への流出痕は濃くなっていた。
- ⑧ 前回と比べ、キク畑から道路へ赤土等の流出は確認されなかった。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑧ 昨年度と比べ、工事箇所から赤土等の流出は確認されなかった。
- ⑨ 昨年度と比べ、路肩斜面から側溝や道路への赤土等の流出痕は薄くなっていた。
- ⑫ 昨年度と比べ、土砂崩れ箇所から道路への赤土等の流出痕は薄くなっていた。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑭ 前回と比べ、勾配修正箇所そばの道路にあった赤土等の流出痕は、なくなっていた。
- ⑮ 前回と比べ変化はなく、トタン板による赤土等の流出防止対策が施されていたものの、側溝や道路への赤土等の流出や堆積も確認された。

55 石川川(うるま市)河口 第2回調査(平成31年2月14日実施)
 調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
① 河口域の状況 (濁りなし)	① 河口域の状況 (濁りなし)	② 北側支川下流域の状況 (濁り少)
		
② 採水の状況 (濁度8.4(度))	③ サトウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	③ 前回の状況
		
④ 農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕状況	④ 前回の状況	⑤ キク畑から道路へ赤土等の流出痕状況
		
⑤ 前回の状況	⑥ 農地から道路へ赤土等の若干の流出痕状況	⑥ 前回の状況
		
⑦ 農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕状況	⑦ 前回の状況	⑧ 赤土等流出防止条例に係わる表示(工事名は個人情報のため黒塗り)

55 石川川(うるま市)河口 第2回調査(平成31年2月14日実施)
 調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
<p>⑧ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑧ 工事現場の状況</p>	<p>⑧ 前回の状況</p>
		
<p>⑨ 路肩斜面から側溝や道へ赤土等の若干の流出痕状況</p>	<p>⑨ 前回の状況</p>	<p>⑩ 新規造成地の状況</p>
		
<p>⑪ 赤土等流出防止条例に係わる表示</p>	<p>⑪ 工事現場の状況</p>	<p>⑫ 土砂崩れ箇所の状況</p>
		
<p>⑫ 土砂崩れ箇所の状況</p>	<p>⑫ 前回の状況</p>	<p>⑬ マルチングによる赤土等の流出防止対策</p>
		
<p>⑭ 勾配修正による赤土等の流出防止対策</p>	<p>⑭ 前回の状況</p>	<p>⑮ トタン板による赤土等の流出防止対策</p>

55 石川川(うるま市)河口 第2回調査(平成31年2月14日実施)
 調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

		
<p>⑮ 前回の状況</p>	<p>⑯ 沈砂池の状況 (オーバーフローなし)</p>	<p>⑯ 沈砂池の出口の状況 (オーバーフローなし)</p>
		
<p>⑰ 沈砂池の状況 (オーバーフロー有り、濁りなし)</p>	<p>⑰ オーバーフローの状況 (濁りなし)</p>	<p>⑱ キク畑の状況 (流出なし)</p>
		
<p>⑱ 前回の状況</p>		

68 アージ島

流域内状況

本流域は、アージ島から北西に延びる流域であり、沖縄本島南部の南城市に位置する。

調査区域には海岸線と平行に農地が広がっており、サトウキビやクレソンを栽培している。農地には休耕地が目立っており、赤土等の流出源となる可能性のある地点は殆どないと考えられる。

調査区域北西部には仲村渠湧水があり、この調査区域の最上流地点の一つとなっている(②)。

流域位置図



流域図



①クレソン畑



①農地の状況(休作地多数)



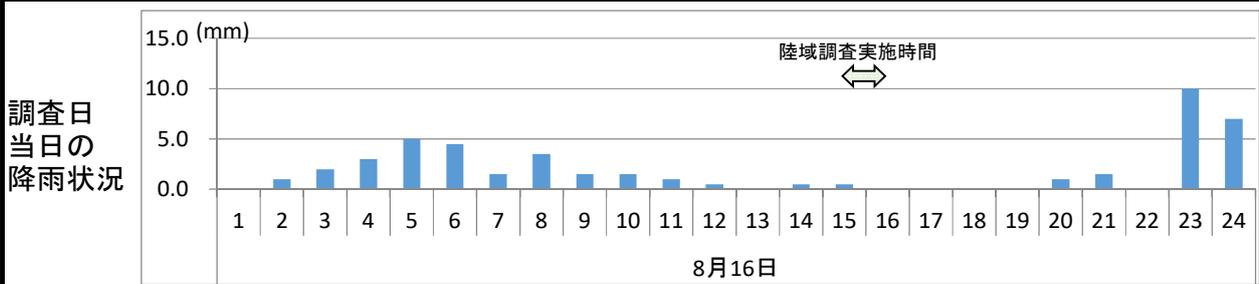
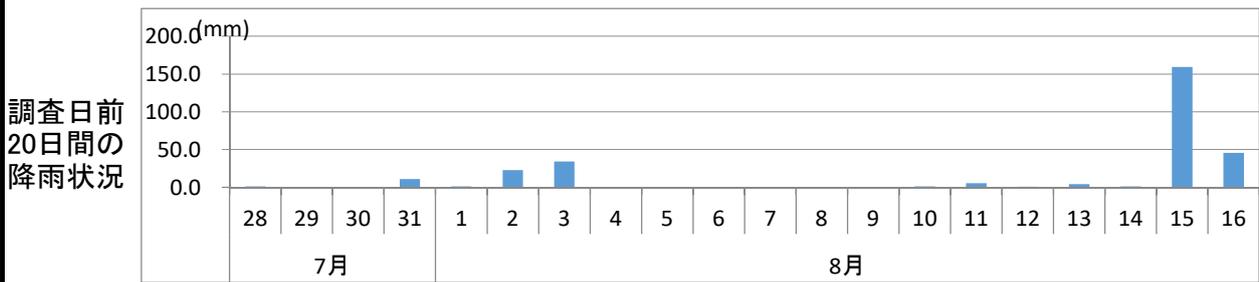
②仲村渠湧水

* 衛星写真の撮影日は平成27年1月4日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

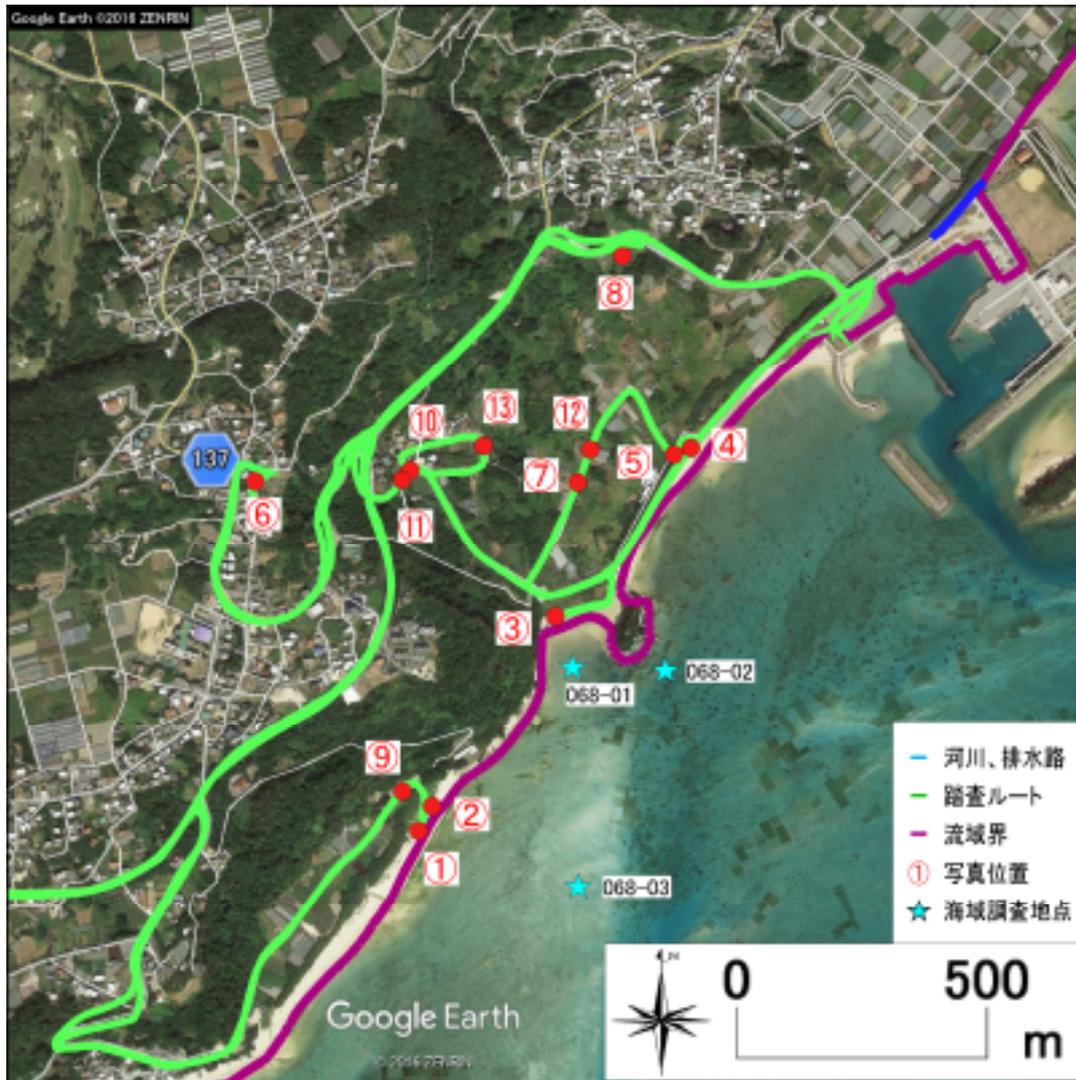
68 アーヅ島

第1回調査(平成30年8月16日実施)

降雨状況 系数観測所



調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成27年1月4日であるため、本調査日平成30年8月16日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

68 アージ島 第1回調査(平成30年8月16日実施)
調査日には降雨量が45.5mmであったため 降雨時 として調査実施
流出情報等
(1)河口、河川
①,② 南側河口域において、濁りは確認されず、閉塞した状態であった。
③ 東側河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は3.2(度)であった。
④ 北東側河口域において、濁りは確認されなかった。
⑤ 調査区域北東側の水路において、濁りは確認されなかった。
⑥ 調査区域西側の仲村渠湧水において、濁りは確認されなかった。前日には150mm以上、また調査前にも20mm以上の降雨があったにもかかわらず、河口域において濁りがほとんど確認されなかったのは、本調査区域には流出源となる農地等があまり無いためであると考えられる。
(2)農地
⑦ 調査区域中央付近のクレソン畑において、赤土等の流出は確認されなかった。
⑧ 調査区域北側のクレソン畑において、赤土等の流出は確認されなかった。
(3)その他(造成地や工事など)
⑨ 調査区域内南側において、造成地が確認された。規模は30×10m程度であり、工事看板等は確認されなかった。また、造成地の周辺には草本が茂っており、この箇所から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。
流出防止対策等
(1)農地
⑩ 調査区域中央付近の農地において、構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。
⑪ 調査区域中央付近の農地において、マルチングと構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。
(2)その他(造成地や工事など)
⑫ 調査区域中央付近において、集水柵が確認された。
⑬ 調査区域中央付近の雑草地において、構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。
前年度確認地点との比較
流出情報等
(1)農地
⑦,⑧ 昨年度と比べ変化はなく、クレソン畑から赤土等の流出はなかった。
(2)その他(造成地や工事など)
⑨ 昨年度と比べ、造成地には表土保護はなくなっていたが、周辺に草本が覆っており、赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。

68 アージ島 第1回調査(平成30年8月16日実施)

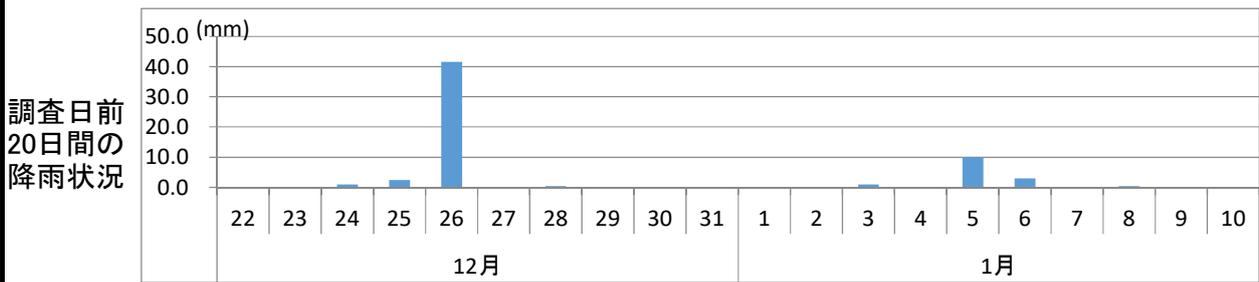
調査日には降雨量が45.5mmであったため 降雨時 として調査実施

		
① 南側河口域の状況 (閉塞状況)	② 南側河口域の状況 (閉塞状況)	③ 東側河口域の状況 (濁り少)
		
③ 採水の状況 (濁度3.2(度))	④ 北東側河口域の状況(濁りなし)	⑤ 水路の状況 (濁りなし)
		
⑥ 仲村渠湧水の状況 (濁りなし)	⑦ クレソン畑の状況 (濁りなし)	⑦ 昨年度の状況
		
⑧ クレソン畑の状況 (濁りなし)	⑧ 昨年度の状況	⑨ 造成地の状況
		
⑨ 昨年度の状況	⑩ 構造物による赤土等の流出防止対策	⑪ マルチングと構造物による赤土等の流出防止対策

68 アージ島

第2回調査(平成31年1月10日実施)

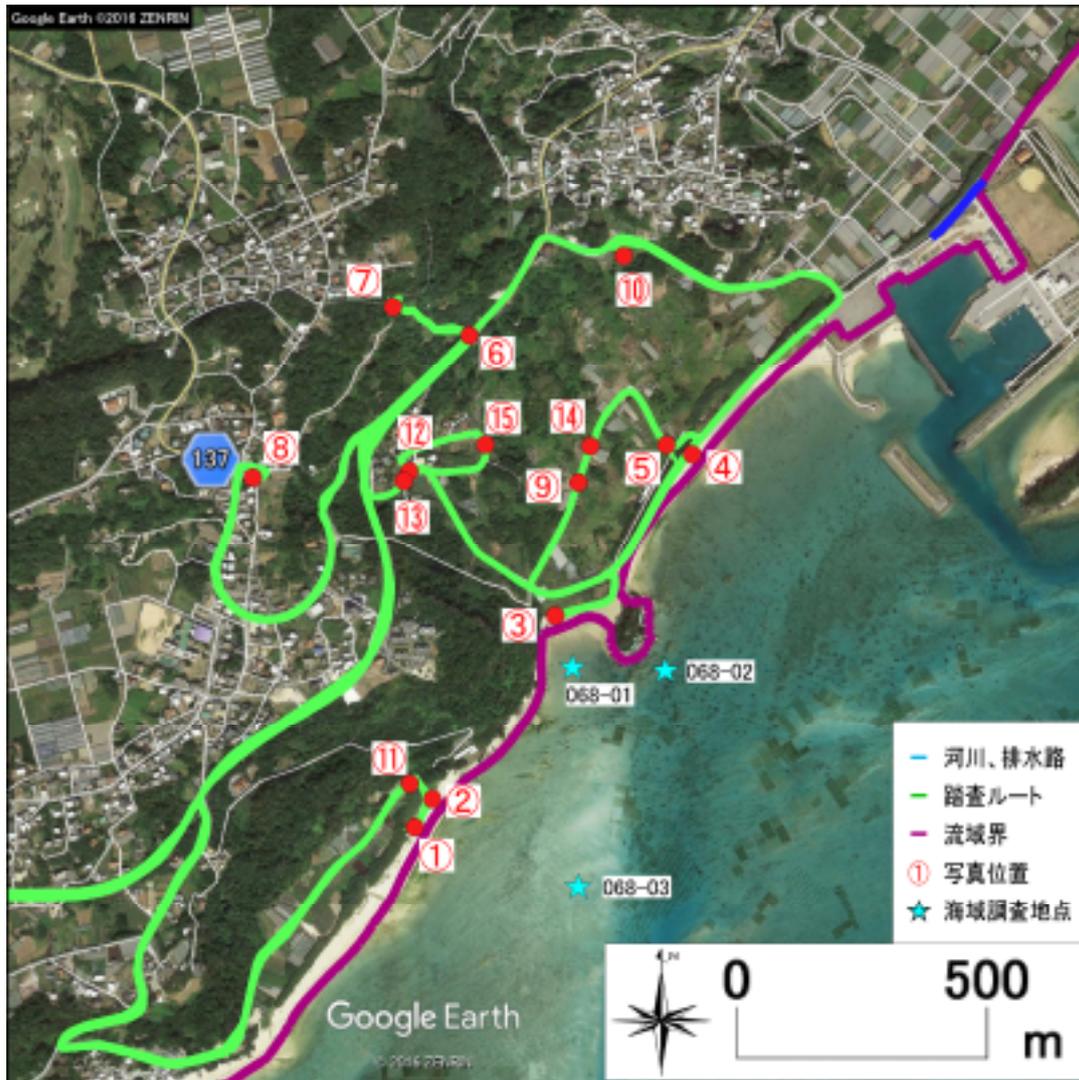
降雨状況 系数観測所



調査日
当日の
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



* 衛星写真の撮影日は、平成27年1月4日であるため、本調査日平成31年1月10日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

68 アージ島 第2回調査(平成31年1月10日実施)
調査日には降雨量が0 mmであったため 平常時 として調査実施
流出情報等
(1)河口、河川
①,② 南側河口域において、濁りは確認されず、閉塞した状態であった。
③ 東側河口域において、濁りは確認されなかった。
④ 北東側河口域において、濁りは確認されなかった。
⑤ 調査区域北東側の水路において、濁りは確認されなかった。
⑥ 調査区域北側の垣花樋水において、濁りは確認されなかった。
⑦ 地点⑥垣花樋水の上流の状況において、濁りは確認されなかった。
⑧ 調査区域西側の仲村渠湧水において、濁りは確認されなかった。
(2)農地
⑨ 調査区域中央付近のクレソン畑において、赤土等の流出は確認されなかった。
⑩ 調査区域北側のクレソン畑において、赤土等の流出は確認されなかった。
(3)その他(造成地や工事など)
⑪ 調査区域内南側において、造成地が確認された。規模は30×10m程度であり、工事看板等は確認されなかった。また、造成地の周辺には草本が茂っており、この箇所から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。
流出防止対策等
(1)農地
⑫ 調査区域中央付近の農地において、構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。
⑬ 調査区域中央付近の農地において、マルチングと構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。
(2)その他(造成地や工事など)
⑭ 調査区域中央付近において、集水柵が確認された。
⑮ 調査区域中央付近の雑草地において、構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。
第1回確認地点との比較
流出情報等
(1)農地
⑨,⑩ 前回と比べ変化はなく、クレソン畑から赤土等の流出はなかった。
(2)その他(造成地や工事など)
⑪ 前回と比べ変化はなく、周辺に草本が覆っており、赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。

68 アージ島 第2回調査(平成31年1月10日実施)

調査日には降雨量が 0 mm であったため 平常時 として調査実施

		
① 南側河口域の状況 (濁りなし)	② 南側河口域の状況 (濁りなし)	③ 東側河口域の状況 (濁りなし)
		
④ 北東側河口域の状況 (濁りなし)	⑤ 水路の状況 (濁りなし)	⑥ 垣花樋水の状況 (濁りなし)
		
⑥ 垣花樋水の状況 (濁りなし)	⑦ 地点⑥の上流の状況 (濁りなし)	⑦ 地点⑥の上流の状況 (濁りなし)
		
⑧ 仲村渠湧水の状況 (濁りなし)	⑧ 仲村渠湧水の状況 (濁りなし)	⑨ クレソン畑の状況 (濁りなし)
		
⑨ 前回の状況	⑩ クレソン畑の状況 (濁りなし)	⑩ 前回の状況

68 アージ島 第2回調査(平成31年1月10日実施)

調査日には降雨量が 0 mm であったため 平常時 として調査実施

		
<p>⑪ 造成地の状況</p>	<p>⑪ 前回の状況</p>	<p>⑫ 構造物による赤土等の流出防止対策</p>
		
<p>⑬ マルチングと構造物による赤土等の流出防止対策</p>	<p>⑭ 集水柵の状況</p>	<p>⑮ 構造物による赤土等の流出防止対策</p>